



**天草市孤立の備えについて
南の玄関口牛深地域について**

浜崎 昭臣（政友会）



【災害時の代替ルートについて】

問 地震で天草五橋が1本でも崩壊したら孤島になる。前定例会でも災害時の代替ルートについて質問したが、執行部の危機感が感じられないため再度問う。

答 災害時の代替ルートが複数あることが重要である。熊本天草幹線道路の早期実現を最優先に取り組んでいく。

問 熊本天草幹線道路の完成は現在のペースだと80年後になる。大規模な自然災害の発生を考えると「八代・天草シーライン」の早期実現こそが代替ルートとして機能し、天草の経済発展に直結すると信じるが。

答 まずは熊本天草幹線道路の完成を推進する。

【海業モデル地区について】

問 取組内容の目標達成の期日を問う。

答 牛深港周辺地域の再開発は令和10年度の整備完了を目指す。また、牛深公園・遠見山公園・鬼塚緑地広場・街並みの整備の目標達成の期日は未定である。

【小森地区および茂串海水浴場について】

問 宝である両地区に一刻も早く光を当ててもらいたい。

答 牛深港周辺の整備から進め、牛深地域全体の活性化につながるよう取り組んでいく。

【おにきん夕陽ヶ丘について】

問 魚貴地区振興会、区長会の努力で「ハートのモニュメント」が完成した。県道沿の駐車場および階段の整備と広場拡幅を。

答 今後前向きに検討する。



▲おにきん夕陽ヶ丘



南海トラフ地震発生時、本市に及ぼす影響と防災対策について

下田昇一郎（市民クラブ）



問 南海トラフ巨大地震が発生した場合に想定される被害と避難所や備蓄品の状況は。

答 熊本県が想定した最大震度は5強、想定津波高最大3.8mとされている。避難所は市全体で208か所あり、収容人数は3万4,000人、高齢者など配慮が必要な方には別に11か所の避難所を開設している。また、備蓄食料8,000食・500mlの飲料水8,000本を配備している。

要望 受入可能人数は本市の人口に対して47%である。充分なのか更なる検証をお願いする。

問 災害に強いまちの形成を掲げる本市において、防災対策全般について自助・公助・共助の観点から市民の皆様へ期待する点は。

答 自分の安全は自らが守る自助の精神が防災の基本であることを踏まえ、防災活動にも積極的に参加して地域で力を合わせ助け合う共助の取り組みを更にお願したい。行政は防災士の育成、防災訓練・防災講話などを通じ主体的な自助・共助強化に取り組み、安全にかかわる防災情報を適時適切に伝えるなど市民の安全確保に努める。



▲能登半島地震以降重要視されている災害用トイレ（左：使用時 右：収納時）



本市のシティプロモーション戦略について

吉田 修（無会派）



【シティプロモーションの現状について】

問 シティプロモーションの必要性についての認識は。

答 地域の魅力を内外に発信し地域へヒト・モノ・カネを呼び込み、地域資源を磨き上げ、地域の価値を高めていくことが重要。選ばれる天草となるよう推進していく。

【移住支援について】

問 制度を活用した移住者の実績は。

答 累計547世帯、1,027名と県内トップクラスで移住から3年後の定住率は83%である。

問 認知度向上に向けた取組は。

答 県と連携した情報発信や移住フェアへの出展のほか、インターネットやSNSの活用、天草市ふるさと住民noteでの情報発信を行い認知度向上に取り組んでいる。



▲移住フェアでの相談会

【観光戦略および移住支援について】

問 TSMCの熊本進出により観光需要が高まりつつある。本市は、台湾向けにどのようなアプローチを考えているか。

答 台湾の旅行会社到天草の魅力を発信してきた。10月には現地商談会で市長と市内観光事業者がトップセールスを行う予定。

問 民間事業者のインバウンドに向けた機運醸成を図るための行政の役割は。

答 インバウンド需要の取り込みには、天草を回遊する仕組みづくりが必要。国や県の補助事業の活用も含め、取り組んでいく。



牛深雑節、道路異常通報システム、住宅リフォーム助成、PFASについて

五通 俊作（公明党）



【日本一の牛深雑節について】

問 日本一の牛深雑節を守るための本市の考えは。

答 節等製造者連絡協議会が実施する「地域資源ブランド力向上スタートアップ事業」と連携し、牛深の雑節のブランド化に取り組んでいく。



▲牛深漁港水揚げ風景

【道路異常通報システムについて】

問 道路異常通報システム導入の考えは。

答 既に運用されている国土交通省のLINE通報システムを利用した通報システムに、本市の公式LINEアプリとの連携も含めて検討していく。

【天草市住宅リフォーム助成事業について】

問 助成額の上限である経費の2割の見直し及び2回目利用の考えは。

答 経済活性化の要因となりうるか十分な検証を行い、制度の在り方について検討したい。

【PFAS（有機フッ素化合物）について】

問 本市の今後のPFASへの対応は。

答 水道水源のPFOS・PFOA^(※)の検査を速やかに実施し、ホームページ等を活用し結果を公表する。また、暫定基準値以下であっても1ng/l以上の値が出た場合は監視強化に努める。

(※)PFOS・PFOAとは、有機フッ素化合物の一種